

神戸・摩耶山

なまえ【 】



越冬のため、長距離を移動する渡りのチョウ「アサギマダラ」が神戸・摩耶山の天上寺に飛来している。鮮やかなあざぎ色の羽の舞が、秋空に映える。

北日本や標高の高い山地などに生息し、秋になると沖縄・南西諸島や台湾などへ移動する。2千キロを飛ぶ個体もあるとされ「旅するチョウ」と呼ばれる。

大好物のフジバカマが植わる同寺の境内ではここ数年、ピーク時に数百羽が乱舞。同寺によると4、5日前に飛来し、現在は30羽ほどの姿が見られる。10月

同寺の副貫主伊藤浄真さん(69)は「海を渡っていく小さな体に秘められた偉大な生命力を身近に感じてほしい」と話している。

秋空に羽ばたくアサギマダラ=28日午前、神戸市灘区摩耶山町、摩耶山天上寺



①この記事に、メインの見出しを12~13字くらいでつけてみましょう

Empty box for writing the main headline.

②このチョウが「旅するチョウ」と呼ばれる理由は何ですか。空欄を埋めましょう

や などに生息し、
 になると や などへ移動
 するから。 キを飛ぶ個体もあるとされる

③摩耶山天上寺にはこのチョウの好物の何が植わっていますか

Empty box for writing the favorite food of the butterfly.